



ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グラウンドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前の営みです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういったささえ合いを「お宝」として、発信していきます。

取材先

◇ 鳥之郷地区

鶴生田町西

◇ コロナ禍でも地域のために

鶴生田町西ではいきいきサロンを始め、歌声サロン、健康体操など地域の様々な活動が長年にわたり、活発に開催されてきました。ですが緊急事態宣言が発令されるなど活動が全て自粛に。お年寄りが比較的多く暮らしている鶴生田町西では、「寂しい」や「毎日つまらない」という声が多くあがりました。そこで区長、区長代理、民生委員、地域のボランティアが中心となり、“できることから”と対策を徹底し、小さな集まりとして徐々に再開されました。

再開した活動ではスタッフを含む参加者全員の検温、手指の消毒を行い、間隔を定めた座席の配置や、演者用に飛沫対策として透明なカーテンを天井から吊るすなど、感染症予防対策を徹底して行っています。



感染症を予防するために、スタッフが徹底して消毒などを行っている様子

◇ 大切なことは社会参加すること

運営の中心人物の1人である加藤勝利さん(77)は、地域が元気になることにやりがいを感じ、ボランティア活動に精力的に携わっています。「私も含めた地域のお年寄りが家で退屈せず元気でいられるように」と小さな集まりでも参加する、外に出るきっかけを多く作るため、できるだけ色々な行事ができるようにといつも考えています。しかし時代はコロナ禍。最近では3つの“ちょう”「慎重に」「緊張して」「自重して」を心がけながら運営をしています。



参加者の健康状態などを伺う様子

裏面では、具体的な活動を紹介！

地域のお宝発見～日頃の交流が支え合い活動～ 太田市生活支援体制整備事業

◇鶴生田町西ふれあい・生き生きサロン

このサロンは発足して20年以上経過する歴史の長いサロンです。参加者は80代以上の方が多く、その中には、このサロンの立ち上げに携わっていた方もいらっしゃいます。この日は「あいお話の会」による読み聞かせや参加者同士でのおしゃべりが行われました。



サロンの様子 



「また会ったね！」
「こないだはどうも～♪」

✓チェックポイント1

ここにあるサロンやお茶会は、「居場所」や「集いの場」になっています。ここへ通うことが「社会参加」や「交流」であり、おしゃべりすることが「困りごとの相談」や「情報交換」にもなり、ソーシャルディスタンスでありながらも顔を合わせることや、ここがきっかけで連絡を取り合うことが「安否確認」や「見守り」「見守られ」の関係づくりになっています！



 お茶会の様子

◇お茶会

お茶会は、歌声サークルなどコロナ禍で集まらない行事の代替えとして発足しました。名称はお茶会とありますが、お茶を飲むことが主ではなく、飲み物はコロナ禍という観点から各自で用意し、おしゃべりを主に情報交換などを楽しみます。それに加えてこの日は加藤さんが手作りしたペットボトルのけん玉で軽い運動も笑顔で楽しみながら行いました。

✓チェックポイント2

コロナ禍で“形を変えたつながり”。例えば2部制にして少人数で開催したり、新しい生活様式に則った内容に変更したり、様々な工夫が施されて再開しています。こうした新しいつながり方を模索して実行することにより、つながりを切らずに社会的孤立を防ぎ、みんなが安心して暮らせる地域づくりにつながります！

こちらで紹介した活動は現在休止中（令和3年3月まで※予定）です。写真は令和2年10月に行われたものです。

太田市社会福祉協議会



「つながる通信」は太田市社会福祉協議会のホームページ

<https://otashakyo.jp/>に掲載しております

お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032